ビーズコート BIO シリーズ

ホルムアルデヒド放散等級
F☆☆☆☆
内装仕上げの制限なし

系　統	超撥水高耐候ラジカル制御形つや消し塗料シリーズ
仕上がり	つや消し・砂壁調（ビーズコートフレッシュのみ）
色　相	白・黒・赤・赤さび色・オーカー色・黄色・紺・調色品（淡彩色・中彩色・濃彩色）
荷　姿	ビーズコート BIO（水系特殊変性シリコーン樹脂塗料）：16kg・3kg ビーズコート無機 BIO（水系特殊変性無機有機ハイブリッド樹脂塗料）：15kg・3kg ビーズウォール BIO（水系特殊変性シリコーン樹脂塗料・NB システム対応）：16kg・3kg ビーズコートフレッシュ BIO（水系特殊変性シリコーン樹脂改修塗材）：20kg 1 液ワイドビーズコート BIO（弱溶剤系 NAD 特殊変性シリコーン樹脂塗料）：15kg・4kg
特　長	・環境に配慮した安全性に優れるバイオ技術により、かびや藻の発生を長期にわたり抑制します。 ・塗膜表面の微細突起構造と疎水特性により、ビーズの様に丸まった水滴が汚れを絡め取りながら転がり落ちることで、綺麗な塗膜を保ちます。 ・高度なラジカル制御技術によりグレードアップした耐候性を有するつや消し塗料です。 ・透湿性と防水性を兼ね備えた結露低減に貢献します。

性　能

ビーズコート BIO・ビーズコート無機 BIO・ビーズウォール BIO

項　目		試験結果	品質規格（JIS K5663 等に準ずる）
容器の中に状態		合格	かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性		合格	2 回塗りで、塗装作業に支障があってはならない。
塗膜の外観		合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
低温安定性（-5℃）		合格	変質してはならない。
乾燥時間	標準状態	合格	2 時間以内
	5℃	合格	4 時間以内
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）		97 ～ 98	93 以上
耐水性		合格	96 時間浸したとき異常がないものとする。
耐アルカリ性		合格	48 時間浸したとき異常がないものとする。
耐洗浄性		合格	500 回の洗浄に耐えるものとする。
促進耐候性		合格	異常がない。
屋外曝露耐候性		合格	12 ヶ月の試験で、膨れ、はがれ、及び割れがなく色の変化と白亜化の程度が見本品に比べて大きくないものとする。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

ビーズコートフレッシュ BIO

項　目		試験結果	品質規格（JIS A6909 可とう形外装薄塗材 E 等に準ずる）
低温安定性		合格	塊がなく、組成物の分離及び凝集がない。
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		合格	ひび割れがない。
付着強さ N/㎟	標準状態	1.3	0.5 以上
	浸水後	1.3	0.3 以上
温冷繰返し		合格	試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がない。
透水性 A 法　mm		0.0	10.0 以下
耐アルカリ性 A 法		合格	ひび割れ、はがれ、膨れ及び軟化溶出がなく、浸さない部分に比べて、くもり及び変色が著しくない。
耐洗浄性		合格	はがれ及び摩耗による基板の露出がない。
耐衝撃性		合格	ひび割れ、著しい変形及びはがれがない。
耐候性 A 法		合格	ひび割れ及びはがれがなく、変色の程度はグレースケール 3 号以上とする。
可とう性		合格	ひび割れがない。
防かび性		かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性		藻の発生なし	寒天培地法による。

1 液ワイドビーズコート BIO

項　目	試験結果	品質規格（JIS K5670 等に準ずる）
容器の中に状態	合格	堅い塊がなくて一様になるものとする。
塗装作業性	合格	はけ塗り及びローラーブラシ塗りに支障があってはならない。
塗膜の外観	合格	塗膜の外観が正常であるものとする。
乾燥時間（半硬化乾燥）	合格	5 時間以内とする。
隠ぺい率%（白色及び淡彩色）	97	90 以上
耐水性	合格	水に浸しても異常がないものとする。
耐アルカリ性	合格	アルカリに浸しても異常がないものとする。
促進耐候性	合格	塗膜に割れ、はがれ、膨れがなく、色の変化の程度が見本品と比べて大きくなく、白亜化の等級が 1 以下とする。
透湿度 g/㎡・24hr	120	JIS Z0208 防湿包装材料の透湿度試験方法（カップ法）による。
防かび性	かびの発生なし	JIS Z2911 かび抵抗性試験方法に準じる。
防藻性	藻の発生なし	寒天培地法による。

用　　途	建築物内外壁など
適用素地	窯業系サイディングボード・コンクリート・モルタル・ALC パネル・スレートなど

塗装仕様

ビーズコート BIO・ビーズコート無機 BIO・ビーズウォール BIO

工　程		塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/㎡ / 回）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
1	下地調整	新設	・素地を十分に乾燥させる。（含水率 10%以下、pH10 以下） ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。				
		改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa 以上）で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。				
2	下塗	サミプラホワイト BIO シーラー 清　水	100 5 ～ 20	0.07 ～ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ビーズコート BIO シリーズ 清　水	100 5 ～ 15	0.1 ～ 0.15	2	2 時間以上（最終養生）24時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能上塗：ビーズコート BIO・ビーズコート無機 BIO・ビーズウォール BIO
使用可能下塗：サミプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

ビーズコートフレッシュ BIO

工　程		塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/㎡ / 回）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
1	下地調整	新設	・素地を十分に乾燥させる。（含水率 10%以下、pH10 以下） ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。				
		改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa 以上）で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。				
2	下塗	サミプラホワイト BIO シーラー 清　水	100 5 ～ 20	0.07 ～ 0.11	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	ビーズコートフレッシュ BIO 清　水	100 5 ～ 15	0.3 ～ 0.5	2	3 時間以上（最終養生）24時間以上	はけ塗り ウールローラー塗り リシンガン吹付け ［口径：3.5 ～ 5.0mm 吹付圧：0.4MPa］

使用可能下塗：サミプラホワイト BIO シーラー・カチオンホワイト BIO シーラー・ワイドシーラー BIO

1 液ワイドビーズコート BIO

工　程		塗　料	調合（重量比）	標準塗付量（kg/㎡ / 回）	塗回数	塗装間隔（23℃）	塗装方法
1	下地調整	新設	・素地を十分に乾燥させる。（含水率 10%以下、pH10 以下） ・素地のレイタンス・エフロレッセンス・汚れは除去し、巣穴・不陸・目違いなどは予めラフトンカチオン SC フィラーなどの建築用下地調整塗材で補修する。				
		改修	・既存塗膜の浮き・ふくれ・ぜい弱部などはサンダー・皮スキなどを用いて除去する。 ・汚れ・じんあい及びチョーキングなどの劣化塗膜を高圧水洗（水圧：15MPa 以上）で除去する。 ・水洗い面を乾燥させる。 ・既存塗膜の段差・不陸の箇所を同一模様になる塗材で復元する。				
2	下塗	ワイドシーラー BIO	100	0.08 ～ 0.17	1	3 時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り
3	上塗	1 液ワイドビーズコート BIO 塗料用シンナー	100 5 ～ 15	0.12 ～ 0.2	2	4 時間以上（最終養生）24時間以上	はけ塗り・エアレス塗り ウールローラー塗り

使用可能下塗：ワイドシーラー BIO